



移动与空间

——汉日对比研究

徐靖 著

移动与空间

——汉日对比研究

徐 靖 著



復旦大學出版社

图书在版编目(CIP)数据

移动与空间——汉日对比研究/徐靖著. —上海:
复旦大学出版社, 2011. 9
ISBN 978-7-309-07985-2

I. 移… II. 徐… III. 语法-对比研究-汉语、日语 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 030764 号

移动与空间——汉日对比研究
徐 靖 著
责任编辑/黄昌朝

复旦大学出版社有限公司出版发行
上海市国权路 579 号 邮编:200433
网址: fupnet@fudanpress.com <http://www.fudanpress.com>
门市零售:86-21-65642857 团体订购:86-21-65118853
外埠邮购:86-21-65109143
上海第二教育学院印刷厂

开本 890 × 1240 1/32 印张 10.25 字数 252 千
2011 年 9 月第 1 版第 1 次印刷

ISBN 978-7-309-07985-2/H · 1666
定价: 35.00 元

如有印装质量问题, 请向复旦大学出版社有限公司发行部调换。
版权所有 侵权必究

徐靖，女，语言学博士，西安外国语大学副教授。曾先后就读于西安外国语大学、陕西师范大学，分别获日语学士学位、教育心理学硕士学位。1996年获日本文部科学省奖学金赴日本庆应义塾大学留学。2002年作为外交部派遣国际交流员赴日工作。之后，考入日本筑波大学，师从佐々木勲人先生和山田博志先生，2005年于该校获语言学硕士学位，2008年获语言学博士学位。近年来主要从事汉日语法对比研究和认知语言学研究，在《外语教学与研究》、《语言教学与研究》、《外语研究》、《汉语学习》、《外语教学》等学术刊物上发表语言学论文近20篇，编著日语教材3部。

“陕西(高校)哲学社会科学重点研究基地——
西安外国语大学外国语言学及应用语言学研究
中心”资助出版。

目 录

第一章 研究の目的と構成	1
1.1 研究の目的	1
1.2 本研究の構成	11
第二章 移動動詞	15
2.0 はじめに	15
2.1 日本語の移動動詞	18
2.2 中国語の移動動詞	25
第三章 移動の経路	40
3.0 はじめに	40
3.1 先行研究の検討	44
3.1.1 日本語場所格助詞「を」と「で」に についての先行研究	44
3.1.2 中国語場所目的語形式と前置詞 “在”についての先行研究	51
3.1.2.1 場所目的語形式につい ての先行研究	52
3.1.2.2 前置詞“在”について の先行研究	67
3.2 日本語の場所格助詞「を」と「で」	86
3.2.1 場所格助詞「を」	87
3.2.1.1 移動空間についての分析	87
3.2.1.2 <有界的経路>の<起点>	95

3.2.1.3	＜有界的経路＞の ＜経過点＞……………	96
3.2.1.4	＜有界的経路＞の ＜経過域＞……………	101
3.2.1.5	＜非有界的経路＞……………	105
3.2.2	場所格助詞「で」……………	106
3.2.3	場所格助詞「を」と「で」のニュ アンスの違い……………	107
3.2.4	未解決問題への再考……………	111
3.2.5	義務成分と随意成分……………	113
3.2.6	場所格助詞「を」の基本義……………	114
3.3	中国語の場所目的語形式と前置詞“在”……………	121
3.3.1	場所目的語形式と空間形式……………	121
3.3.2	場所目的語形式と前置詞形式 の意味対照……………	134
3.3.3	場所目的語形式の意味機能……………	139
3.3.3.1	“非移動動詞＋場所目的 語”の意味機能……………	142
3.3.3.2	“移動様態動詞＋場所 目的語”の意味機能……………	164
3.4	＜経路＞に関する日本語と中国語の対照研究 ……	186
3.4.1	日本語の経路表現と中国語の場 所目的語構文の対応関係……………	186
3.4.2	＜中間経路＞に関する日本語と 中国語の空間移動表現……………	187
第四章	移動の起点……………	207
4.0	はじめに……………	207
4.1	先行研究の検討……………	214

4.1.1.	日本語の場所格助詞「から」と 「を」についての先行研究	214
4.1.2	中国語の前置詞“从”と場所目的語 形式についての先行研究	238
4.2	日本語の場所格助詞「から」と「を」	250
4.2.1	場所格助詞「から」の基本義	251
4.2.2	場所格助詞「を」の基本義	261
4.2.3	未解決問題への再考	267
4.3	中国語の前置詞“从”と場所目的語形式	275
4.3.1	意味的な違い	275
4.3.2	場所目的語形式の抽象的意味への 拡張	279
4.3.3	疑問点への再考	282
4.4	日中の対応関係	286
第五章 結語		300
5.1	中間経路に関する日中対照	301
5.2	移動の起点に関する日中対照	306
5.3	終わりに	309
<参考文献>		311
<参考辞書>		319
<実例出典>		320

第一章 研究の目的と構成^①

1.1 研究の目的

中国人は(1a)“鳥在天上飞(鳥が空を飛ぶ)”を日本語に訳す場合、よく(1b)「? 鳥が空で飛ぶ」のような不適切な文に訳してしまう^②。正しい日本語は(1c)「鳥が空を飛ぶ」である。

- (1) a. 鳥 在 天 上 飞。
bird at sky on fly
b. ? 鳥が空で飛ぶ。
c. 鳥が空を飛ぶ。

中国の日本語教育の現場では(1b)のようなすわりの悪い文がしばしば見られる。中国人は「を」で表すべき移動の場所を「で」を使って表現しがちである。その理由を尋ねると、「テキストにはデ格は「動作が発生する場所を表す」と書いてあり、「飛ぶ」は動作の一種であるから、「で」を用いて鳥が飛ぶ場所である「空」を導こうと考えた」と答える。確かに、「で」は動作が発生する場所を表す」という定義は誤りではない。『現代日汉大词典』にも同様の定義が記されている: “で: (格助) 表示动作进行的场所(動作が行われる場所を表す)” (『現代日汉大词典』p. 1165, 日本語訳は筆者)。『日中・中日辞書引きプログラム Version7.00』(以下、『日中・中日辞書』)では更に(2)～

① 本稿は日本筑波大学 2008 年度博士学位論文である。

② 本稿では「*」はその表現が不成立、「?」は不適切、「??」はさらに容認度が劣ることを表すものとする。

(4)のような例が挙げられている(bはaの訳文である)①。

(2) a. 学校で勉強する。

b. 在 学校 学习。 (『日中・中日辞書』)
at school study^②

(3) a. わたしは大阪で5年すごした。

b. 我 在 大阪 生活 了 五 年。
I at Osaka live PFV five year
(『日中・中日辞書』)

(4) a. 血压なら,保健所で測ってくれる。

b. 血压的话,在保健所 量。
at clinic measure
(『日中・中日辞書』)

詳しく見てみると,(2)~(4)では,日本語の格助詞「で」で示された動作発生の場所は中国語では皆“在”が導く前置詞形式で表現されている。そのため,中国人は“鸟在天上飞(鳥が空を飛ぶ)”を日本語に訳すとき,“在学校学习(学校で勉強する)”“在食堂吃饭(食堂でご飯を食べる)”と同じように,「で」を用いて「? 鳥が空で飛ぶ」と訳してしまったのである。

中国人だけではなく,多くの外国人が日本語を勉強する際に空間表現の格助詞「を」を「で」と間違える現象は,かなり以前から注目されてきた。金子(1974)は外国人が日本語を学ぶ際犯しやすい誤りの例として次の(5)を挙げている。

(5) a. * 雨が降って来たから,私は道で急ぎました。

b. * きのはいなか道で歩きました。

c. * ジェット機が頭の上で飛んでいます。

d. * 誰かが家の前で走って行きました。

① 本稿では『日中・中日辞書引きプログラム Version7.00』を『日中・中日辞書』と略称する。『日中・中日辞書引きプログラム Version7.00』はChinese Writer 7(高電社2003年)の付属ツールであり,『日中辞典』『中日辞典』(小学館第1版)に準拠したものである。

② 本稿において実例及び先行研究のglossは筆者によるものである。

e. * 赤ちゃんが砂の上ではっていました。

(金子 1974)

(5)a～eの誤りはいずれも格助詞「を」を使うべき場所名詞の後ろで「で」を使ってしまっているのである。「を」と「で」の区別について、金子は「助詞「を」を使えば、何かが線状的に空間を超えて動いていくという感じを起こすのに対して、「で」は何かが一定の場所を使って動くという感じを与える」と分析している(金子 1974:69)。しかし、「道」、「頭の上」、「家の前」、「砂の上」などは「一定の場所」でありながら、なぜ文中でこれらを用いるときは後ろに格助詞「を」しか用いられないのか。

以上の観察を通して、「飛ぶ」、「歩く」、「走る」など移動に関わる動詞は、場所格助詞に「を」しか使えないという誤解を招きやすい。実際には、これらの動詞の前に「を」も「で」も用いられる例もある。

(6) a. 蜂が庭を飛ぶ。

b. 蜂が庭で飛ぶ。

動詞は同じ「飛ぶ」であるが、場所名詞が「空」であるか「庭」であるかの違いによって、使用する格助詞の許容度が変わる。たとえば、「飛ぶ」場所が「空」である場合は、(1b)「空を飛ぶ」しかいえないが、「飛ぶ」場所が「庭」である場合は、(6a)「庭を飛ぶ」も(6b)「庭で飛ぶ」も成り立つ。しかし、この場合、「庭を飛ぶ」と「庭で飛ぶ」が表す意味は同じではないはずである。そこで、(6a)と(6b)のニュアンスの違いは一体何であるかという疑問が出てくる。

(7) a. 魚が海を泳ぐ。

b. ? 魚が海で泳ぐ。

(8) a. ? 彼が海を泳ぐ。

b. 彼が海で泳ぐ。

一方、(7)と(8)のような、移動動詞がどちらも「泳ぐ」で、場

所名詞がどちらも「海」のとき、移動主体が魚か人かの違いによって、許容される場所格助詞がちょうど逆になる場合もある。この現象はどのように説明したらよいだろうか。

(9) a. 公園を散歩する。

b. 公園で散歩する。

(10) a. プールの25メートルのコースを泳ぐ。

b. プールの25メートルのコースで泳ぐ。

それには、まず場所格助詞「を」と「で」がそれぞれ成立する条件を検討しなければならない。また、(6)や(9)や(10)のような、「を」と「で」が同時に成立する場合の意味の違いをいかに把握するかが、更に大きな問題となる。

一方、中国語教育の現場にも、「を」と「で」の問題と同様の問題がある。場所目的語形式と前置詞形式の使い分けの問題である。

(11) a. 在 那个 公园 散步。

at that-CL park walk

(その公園を散歩する。/その公園で散歩する。)

b. * 散步 那个 公园。

walk that-CL park

(12) a. 鸟 在 天 上 飞。

bird at sky on fly

(鳥が空を飛ぶ。)

b. * 鸟 飞 天 上。

bird fly sky on

日本語は「公園を散歩する」と「公園で散歩する」のどちらもが成立するが、「を」の表現と構造的に最も近い中国語の場所目的語形式は、この場合成り立たない。つまり、(11b)“* 散步 那个公园”は非文である。「その公園を散歩する」と「その公園で散歩する」を中国語に訳せばどちらも(11a)“在那个公园散步”となる。また、「鳥が空を飛ぶ」と形式的に類似する(12b)“* 鸟飞天上”も成り立たず、“在”を用いた前置詞形式(12a)

“鸟在天上飞(鳥が空を飛ぶ)”しか対応しない。

日本語の「を」の問題を考えると、「公園を散歩する」のほかに、「北京を出発する」や「公園を通る」のような、＜起点＞と＜経過点＞を表す表現についても考えなければならない。一方、中国語の場所目的語形式も＜起点＞や＜経過点＞の問題に関わっている。

(13) a. ここから南へ行って西単を通り過ぎると間もなく宣武門だ。

b. 从 这儿 往 南 走, 经过
from here toward south walk, cross
西单 就 到 宣武门 了。
Xidan then arrive Xuanwu-Gate CRS
(『日中・中日辞書』)

(14) a. 教室を出る。

b. 出 教室。
exit class-room

(15) a. 北京を出発する。

b. * 出发 北京。
start Beijing
c. 从 北京 出发。
from Beijing start

(13)～(15)は日中対訳の用例である。中国語の場所目的語形式は(13b)のように＜経過点＞を表すことができる。しかし、＜起点＞については、(14b)のように表すことができる場合と、(15b)のようにできない場合がある。この場合、“从”を用いた前置詞形式を用いて、(15c)“从北京出发”を表すしかない。前置詞“从”は日本語の格助詞「から」に最も近い意味用法をもっているため、「北京から出発する」の訳文も“从北京出发”となる。このように＜起点＞の表現においては、日本語より中国語の表現の方が乏しく見える。

(16) a. * 部屋を入る。

b. 进 房间。

enter room

(部屋に入る。)

しかし、日本語の「を」が表すことのできない移動の＜着点＞は中国語の場所目的語形式で表現できる。例えば、(16a)「*部屋に入る」がいえないのに対して、(16b)“进房间”はいえる。つまり、＜着点＞においては日本語より中国語の方が表現が豊かに見える。

例文の(11)、(12)、(15)はいずれも場所目的語形式が成立しないが、前置詞形式が成立するものである。ところが、場所目的語形式と前置詞形式が同時に成立する例もある。

(17) a. 队伍 从 门 前 经过。

troop from door front cross

(行列が門の前を通った。)

b. 队伍 经过 门 前。

troop cross door front

(行列が門の前を通った。)

(18) a. 在 商场 里 逛。

at department-store in wander

(デパートでぶらぶらする。)

b. 逛 商场。

wander department-store

(デパートをぶらぶらする。)

(19) a. 飞 往 北京。

fly toward Beijing

(北京へ飛んでいく。)

b. 飞 北京。

fly Beijing

(北京へ飛んでいって、…)

(17)、(18)はいずれも場所目的語形式と前置詞形式が同時に成立する例であるが、(19)は場所目的語形式と動補形式が

同時に成立する例である^①。(17)～(19)においてaとbの間には微妙なニュアンスの違いがある。

(20) a. 友達と公園をぶらつく。

b. 和 朋友 在 公園 里 散步。
with friend at park in walk

(『日中・中日辞書』)

(21) a. 仕事が終わってから街を散歩する。

b. 下班 后 上 街 逛
off-duty after ascend street wander
逛。
wander

(『日中・中日辞書』)

さらに、空間移動表現に関する日本語と中国語の対応関係を考える。形式だけみれば、日本語の「を」は中国語の場所目的語形式に対応し、日本語の「で」は中国語の前置詞形式に対応しているようにみえるが、実際には(20)や(21)のような対訳用例が見つかった。つまり、中国語では前置詞形式を用いる形式が日本語の「を」と対応したり、また、中国語で連動構造を用いる形式が日本語の「を」と対応したりする現象がある。これらの現象は空間移動表現に関する日本語と中国語の、それぞれのどのような特徴を反映しているのだろうか。

ところで、日本語の格助詞「を」は「公園を散歩する」のような移動の＜中間経路＞を表せるだけでなく、「彼は部屋を出る」のような移動の＜起点＞も表すことができる。移動の＜起点＞に関しては、「を」のほかに格助詞「から」も用いられ、かつ「を」よりむしろ「から」のほうが＜起点＞を表す構文に自由に現れることが多いと思われる。

(22) a. 彼は部屋を出た。

① (19a)の“往+場所名詞”は補語として動詞“飞”を修飾する。

b. 彼は部屋から出た。

(23) a. *煙が煙突を出た。

b. 煙が煙突から出た。

(24) a. *彼は馬を落ちた。

b. 彼は馬から落ちた。

たとえば,(22)のように「を」も「から」も＜起点＞表現に用いられることもあるし,また,(23)や(24)のように「を」は用いられず,「から」のみ用いられることもある。日本語が母語ではない学習者にとっては,このように格助詞「から」の一方しか用いられない現象について,理解し難い。また,「部屋を出た」と「部屋から出た」のような同時に成立する場合のニュアンスの違いに対しても,把握することが難しい。(22)~(24)の現象だけ見れば,確かに「を」より「から」の方が容易に＜起点＞の表現に用いられると考えられるが,実際,次のような現象も存在している。

(25) a. 彼は大学を出た後,すぐ就職した。

b. *彼は大学から出た後,すぐ就職した。

たとえば(25)のように,「卒業する」という意味を表す場合は「から」は用いられず,「を」のみ用いられる。先行研究ではこのような用法を「抽象的な移動」としている(益岡・田窪 1987:61)。抽象的な移動において「から」が取り難いという現象は学習の難点である。

一方,日本語において「を」も「から」も移動の＜起点＞を表すことができるように,中国語においても移動の＜起点＞を表す構文が二つある。

(26) a. 他 出 了 房 间。

he exit PFV room

(彼は部屋を出た。)

b. 他 从 房 间 里 {出 来 / 出 去}。

he from room in exit come/ exit go

(彼は部屋から出て来た/出て行った。)

移動の<起点>を表す中国語の構文は二つあり、一つは(26a)“他出了房间(彼は部屋を出た)”のような場所目的語形式で、もう一つは(26b)“他从房间里出来/出去(彼は部屋から出て来た/出て行った)”のような前置詞形式である。このように二つの<起点>を表す構文が同時に成立するとき、両者にはどのようなニュアンスの違いがあるのか、母語話者さえこの問題に答えられないことが少なくない。形式だけ見ると、中国語の場所目的語形式は日本語の「を」構文に、中国語の前置詞「从」を用いる形式が日本語の「から」構文に似ている。しかし、文法機能から見ると、中国語のこの二つの構文は日本語の「を」と「から」の用法と全く同じであるわけではない。

(27) a. 他 摔 下 了 马 。

he fall descend PFV horse

(彼は馬から落ちた。)

b. 他 从 马 上 摔 了 下

he from horse on fall PFV descend

来。

come

(彼は馬から落ちてきた。)

たとえば、日本語では「*彼は馬を落ちた」のような制約が観察され、つまり動作主の意志でコントロールできない移動の場合は「から」しか用いられないのである。一方、中国語においてはこのような制約はない。(27a)“他摔下了马(彼は馬から落ちた)”のような場所目的語形式も成立し、(27b)“他从马上摔了下来(彼は馬から落ちてきた)”のような前置詞形式も成立する。日本語と中国語の移動<起点>に関する表現にはこのようなギャップが存在している一方、抽象的な移動において、中国語は日本語の用法と似ているのである。

(28) a. 他 下 台 了。

he descend stage CRS